



笑顔あふれる慶びの日常へ

3年前に日本国内で新型コロナウイルスの初感染が確認されて以降、瞬く間に感染が拡大し、一時は緊急事態宣言も発出される事態となりました。外出制限もある中、例年企画されていた旅行も中止となり、利用者の活動の楽しみにも制限があった3年間でした。そのような中、令和5年5月8日からは感染症分類が5類となり、感染防止対策を行ったうえで少しずつ日常を取り戻すべく、ワークスひるぜん・ワークスクらよし・グループハウスひるぜんの3事業所から参加希望者を募り、島根県松江市へ日帰り旅行に出かけました。旅行が決まってからは「お土産、何があるかな〜?」「どんなカバンを持っていこうか!」「いっぱい鳥、見れるかな?」など、旅行に関する話題で盛り上がり、旅行をとても楽しみにされている様子でした。また、この旅行へ参加することを励みに作業を頑張る利用者もおられました。3事業所からたくさんの利用者が参加され、松江城堀川遊覧船に乗って船からの景色を楽しみ、島根フォージェルパークで珍

しい鳥やペンギンたちと記念撮影をして、お昼はピュッフェで好きなものをお腹いっぱい食べた満足な1日となりました。帰ってからは職員にも「エサやりが楽しかった!」「花がきれいだった。」「ごはんも美味しかった!」と写真を見せて教えてくださり、皆さんそろって「また行きたい!」と話してくださいました。移動のバスの車内や堀川遊覧船の船内など、まだマスクを手放せない中での旅行でしたが、久しぶりの皆での旅行にマスク越しにも楽しそうな表情を見ることができました。

今回は3事業所の活動を紹介しましたが、その他の事業所も楽しみのある活動をたくさん計画しています。感染対策はまだまだ必要な面もありますが、利用者とともに慶びを分かち合い、これからまた皆で元気に笑顔あふれる日々を過ごしていきたいと思っています。

ワークスひるぜん管理者 東山美子



グループハウスかわかみ グループホーム

高齢化が進む中で、バリアフリーや車いすの動線を確保した環境、機械浴の導入など、利用者が安心・安全に過ごせるような家作りを行いました。その他、日々の会話の中からやりたいことを利用者と一緒に決め、ホーム内でも楽しめるお菓子作りや、感染対策にも配慮し地域の施設の一室を貸し切ったの新年会なども開催しました。どの企画も利用者の皆さんに大変喜んでいただくことができました。



蒜山慶光園 入所施設・生活介護

コロナ禍で活動が制限される中ではありましたが、利用者一人ひとりの想いに応えられるよう感染対策を行いながら個別での外出等を行い、少しずつではありましたが楽しみを感じられる生活の実現に取り組みました。その他、利用者一人ひとりの特性を見直し、より暮らしやすい居住空間となるよう整備することで、安心・安全・快適な生活につなげることができました。



グループハウスおちあい グループホーム

定期的に行っている利用者との話し合いで、一人ひとりの生活目標と、目標を達成するための具体的な取り組みをご本人と決定しました。目標や取り組みをご本人が決めることで、1年間、目標達成に向けて意欲的に過ごすことにもつながりました。また、健康診断結果を基に健康学習会も行い、一人ひとりが自分の健康について考える機会となりました。その他、利用者が快適に過ごせるよう利用者・職員でホームの一斉清掃を行い、環境整備にも取り組みました。



グループハウスひるぜん グループホーム

高齢になられた利用者が今後も安心・安全な生活を続けられるよう、2名の方が高齢者にも対応した法人内の別のグループホームへ移行されました。ご本人が納得して移行できるように部屋の様子や生活の様子の見学を行うとともに、職員間でも検討・情報共有を行いスムーズな移行につなげることができました。休日の余暇活動では感染防止対策を行いながらではありましたが工夫しながら実施し、休日を有意義に過ごすことで働く意欲へと繋がったように感じます。



デイセンターひるぜん 生活介護

活動の軸として軽作業を行っています。慣れた作業工程をこなすだけでなく新たな作業工程にもチャレンジすることで、利用者自身も「できるんだ！」と自信と達成感を感じられた経験になりました。作業だけでなく季節ごとに行事を開催し、利用者の皆さんに楽しんでもらうことで作業を頑張るモチベーションにもつなげることができました。



ワークスひるぜん 就労継続支援B型

蒜山蕎麦などの製麺、ペットフードの製造・袋詰めなど、いくつかの作業の中から利用者一人ひとりに合った作業を切れ間なく提供しています。作業の種類を固定することで利用者も作業工程や流れを理解でき、見通しを持って取り組むことができます。日々、作業中心ではありますが、利用者の食べたい物を皆で作って食べる調理実習などの余暇活動も取り入れ、「働く」と「楽しむ」のメリハリをつけることができるよう工夫しながら取り組んだ一年でした。

デイセンターまにわ 生活介護・就労継続支援A型

生活介護では軽作業を軸としながらも季節に合わせた創作活動やパズルなどの個別活動にも取り組みました。創作した作品は事業所の玄関に展示し、来所者にも喜んでいただいています。個別活動のパズルも利用者に好評で、少しずつ種類を増やしていくことで毎日の楽しみを感じられる取り組みの一つとなりました。

A型事業所では、ペットフードの製造と法人内の日中事業所への昼食弁当の提供を行っています。仕事に頑張る目標を利用者と職員とで一緒に考えながら1年間頑張ることができました。



ワークプレイスマにわ・ワークプレイスつやま 就労継続支援B型

ペットフードとペットのボディータオルの製造を行っています。作業と並行して利用者との面談も実施し、一人ひとりと向き合う時間を大切にしています。このように、安定した作業提供はもちろん、少しでも通所する時間や日数が増えるよう、日々の悩みを聞き取り必要な機関への情報提供を行うなど精神面でのサポートにも取り組んでいます。令和4年度から従来の事業所のワークプレイスつやまがスタートしましたが、試行錯誤しながら利用者と共に順調に作業を進めていく事ができました。

ワークスクらよし・ワークスふくよし 就労継続支援B型

ペットフードの製造・袋詰めと法人内の日中事業所への昼食弁当の提供を行っています。ゆっくりと少数で落ち着いて作業をしたい方、一般就労などの次のステップへ向けて頑張りたい方など、それぞれのニーズに応えられるよう安定した作業提供や環境整備に取り組んでいます。

作業以外にも日々の仕事の労いを兼ねたバーベキューや、リフレッシュを兼ねたウォーキングや体操などのスポーツ体験会も開催し、作業だけでなく生活の充実にもつながる取り組みを行いました。

真庭地域生活支援センター 生活支援センター

気軽にお話に来ていただけるような場所、話して良かったと思ってもらえる場所となるよう、職員一同、心を込めて対応させていただいています。利用者の生活を支えるために関連機関との連携はもちろん、法人内事業所とも密な連携を図り、利用者ご本人の状況を現場職員とも共有することで、日々の生活の状況を掴むことにもつながりました。また、利用者の立場に立ち、自己決定のもと寄り添う支援を大切にすることで利用者・ご家族の意向を大切にされたサポートにつなげることができました。

川上児童クラブ 放課後児童クラブ

児童が安心して過ごせる第2の家となるよう、毎日の放課後に学習支援や様々な遊びを行いました。安全に過ごせる環境を提供することはもちろん、季節を感じながら楽しく過ごしてもらえるよう季節に合わせた装飾を行うとともに季節ごとの行事にも取り組みました。異年齢の交流も大切にし、集団での遊びを通して年齢・学年に応じたそれぞれの役割を理解できるよう、児童の社会性・集団性の習得にも取り組みました。

慶光会ギャラリー

才能豊かな利用者の名画・名作品を紹介します



春の散歩道
 デイセンターひるぜん(生活介護)



世界に一つだけの赤い花
 蒜山慶光園(生活介護)



雨、大好き!
 デイセンターまにわ(生活介護)



初孫・初節句祝い
 ペンネーム 勝山時生
 (TOKIO SHOZAN) さん
 県外にお住まいの娘さん、お孫さんを想いながら作られた作品です。お二人への想い、優しさにあふれた作品となっています。

ありがとうございます。

池田倫也様
 伊豆丸眞美様
 伊豆丸千代美様



ヤマト福祉財団から助成していただきました!



この度、製粉機導入のため、ヤマト福祉財団から助成していただくこととなりました。脱皮機・石臼製粉機などを導入することで、蒜山の農家さんに育てていただいた玄蕎麦を自主製粉でき、製麺の全行程を製麺屋三座で行うことができるようになります。そのことにより、利用者が携わることのできる工程が増え、今以上にたくさんの利用者が作業に取り組めることにもつながります。さらに、今年度から新たに「三座そば生産組合」が設立されました。今後、全国の皆さんに蒜山蕎麦の美味しさを知ってもらい生産量の増加につなげていけるよう、組合の皆さんと一緒に活動していきたいと考えています。

夏には「ざるそば」、秋には「新そば」、年末には「年越しそば」、これから蕎麦が美味しい季節となります。皆さんもぜひ一度、製麺屋三座の蒜山蕎麦をご賞味ください。個人でのご注文もお受けしていますので、お気軽にお問合せください。

ワークスひるぜん(製麺屋三座)

2024年度 新規採用職員募集

障害をお持ちの方の「働く」と「生活」を支えるライフサポーター(生活支援員)を募集しています。

詳しくは、法人事務局までお問合せください。